

首都圏本部

1,000名以上が東京駅周辺を清掃

11月11日、「第17回 東京エキマチ キラピカ作戦」を開催。一般社団法人 東京ステーションシティ運営協議会、日本郵政(株)や(株)東京會館などで構成する、特定非営利活動法人 大丸有エリアマネジメント協会、八重洲・日本橋・京橋キラピカ作戦事務局の3エリア団体が合同で、12月20日に開業110周年を迎える東京駅とその周辺を清掃しました。開会式では、百瀬東京統括センター所長(東京駅長)や樋口千代田区長より挨拶をいただきました。



横浜支社

よこはま動物園ズーラシアと連携したラッピングトレインを運行

横浜線では、1号車と8号車のフリースペース(車いす・ベビーカースペース)を、よこはま動物園ズーラシアにいる動物のイラストで装飾した「よこはません 車内どうぶつラッピングトレイン」を1編成運行しました。車内でお客さまに楽しんでいただくことと、ベビーカーの利用を含め、子育て世代の皆さまがより安心してフリースペースをご利用いただけるよう、同園と連携し企画したものです。



八王子支社

(株)JR中央線コミュニティデザイン

西国分寺駅の改札で「フードドライブ」を実施

社会課題の一つである食品ロスと食料支援の解決策として、11月7日から毎週木曜日に西国分寺駅で「フードドライブ」の活動を実施しています。家庭で使い切れない食品を提供いただき、社会福祉法人国分寺市社会福祉協議会を通じて食品を必要とされる方へお届けします。地域の窓口となっている駅の改札という立地と利便性を活かした取り組みで、地域に根ざした「くらしづくり」を進めていきます。



大宮支社

那須塩原駅の新幹線自動改札機を牛柄にラッピング

11月2日、那須塩原駅の新幹線自動改札機1通路を牛柄にラッピングしました。同駅のコンセプト「ナチュラルファームリゾート」による駅づくりと、那須塩原市の「ミルクタウン戦略」との協働で実現し、当日の「通り初め式」には那須拓陽高校の生徒の皆さまや那須塩原市長にも参加いただきました。これからも地域と協働し、那須地域らしい駅をつくっていきます。



高崎支社

信越線新駅の名称を「豊岡だるま」駅に決定

信越線北高崎～群馬八幡間に設置する新駅の名称を「豊岡だるま」駅に決定し、12月13日、群馬県高崎市長をお迎えした合同記者会見でお披露目しました。同駅は2026年度の開業をめざしており、だるまの生産で名高い同市豊岡地域のシンボルを冠した個性的な駅名として地域の魅力を発信し、皆さまに長く愛される、賑わいにあふれる駅をめざします。



水戸支社

鉄道&珈琲「常磐線特急コーヒー」を販売中

10月1日より、勝田駅(勝田統括センター)社員と(株)サザコーヒーロースターの連携により誕生した新商品「常磐線特急コーヒー」を販売しています。各パッケージには常磐線特急E657系や、茨城デスティネーションキャンペーンを記念し登場した、E657系フレッシュひたちリバイバルカラーの車両をデザインし、コーヒー豆はサザコーヒーのバリスタが各車両のカラーをイメージして選定しました。



千葉支社

はこビュンを活用した「旅する北信濃マルシェ」を開催

11月13日、長野統括センターとMaaS「旅する北信濃」の参画自治体が連携し、東京駅「動輪の広場」で「旅する北信濃マルシェ」を開催しました。列車荷物輸送サービス「はこビュン」を活用し、当日の朝に長野新幹線車両センターで積み込んだ商品を東京駅へ輸送しました。催事場には旬のりんご「ふじ」などの名産品を並び、2,000品以上を販売し大盛況でした。今後も、地域の皆さまとともに信州の魅力を発信していきます。



長野支社

鉄道ファンの夢を叶える運転操縦体験を開催

2月7～8日、君津駅構内の電留線で運転操縦体験イベント「きさらびドリーム～房総209系～」を開催しました。2024年7月にキハE130形を使用して実施したイベントをブラッシュアップしたもので、209系電車の運転操縦を体験していただきました。平日を含めて2日間開催し、お客さまのブレーキ操作で停止させた位置の測定などを行いました。お客さまからは「本物の電車を運転できた」と好評をいただきました。



東北本部

「TOKYO MY STYLE BY SHINKANSEN」のオープニングイベントを開催

東北・新潟・長野の各エリアに在住の若い世代のお客さまをターゲットとした、「わたしなり」の新しい東京の発見や新幹線での旅の楽しさをSNSでお届けする「TOKYO MY STYLE BY SHINKANSEN」の配信開始に合わせ、1月30日、仙台駅東口でオープニングイベントを開催。動画に出演の女優・箭内夢菜さんに当プロモーションに対する想いを語っていただいたほか、お客さまとの記念撮影を行いました。



盛岡支社

鉄道通信技術に関する出前授業を実施

12月25日、1月20・27日の計3回、盛岡信号通信設備技術センターが盛岡市内の高校で出前授業を行いました。地域のIT人材を育成するために、盛岡市デジタル技術実証実験事業補助金を活用した取り組みです。授業用に持ち運び可能な教育キットを作成し、学生の皆さまに鉄道の現場で実際に使われている当社の鉄道通信技術に触れていただきました。



秋田支社

男鹿線の「ACCUM」をラッピング

2月末まで開催された秋田県冬の大型観光キャンペーンに合わせて男鹿へのお客さま誘致を図るために、男鹿線で運行する蓄電池駆動電車「ACCUM（アキュム）」を男鹿市と共同でラッピングしました。12月から運行を開始した青と赤の色をあしらった鮮やかな各車両には、「なまはげ」や「ゴジラ岩」など男鹿をPRするデザインを施しています。外は寒くも人が温かい秋田で、男鹿の魅力があふれる特別な車両とともにお客さまをお迎えしました。



新潟支社

越後線 上所（かみところ）駅が開業

3月15日、越後線白山～新潟間に上所駅が開業。開業に先立ち、同3日には駅名標お披露目会、9日には開業式典を開催しました。駅名標とベンチ、乗車駅証明書発行機のカバーには、新潟県立新潟南高等学校の生徒の皆さまによるデザインを採り入れています。新潟支社エリアでは20年ぶりに誕生する新駅であり、ご利用のお客さまや地域の皆さまに長く愛される駅づくりをめざします。



大井町駅一部ホーム拡幅に伴う 線路切換工事を実施

京浜東北線大井町駅で11月16日終電後～17日16時半にかけ、約16時間にわたる大規模線路切換工事を実施し、ホームの大宮方を一部拡幅しました。本工事は「大井町駅周辺広町地区開発（仮称）」の一環として、東口を利用されるお客さまの増加を見込み、利便性の向上を目的に実施しました。首都圏本部や駅、グループ会社など関係する機関が一体となり、工事を完遂しました。



須賀川駅の新駅舎・東西自由通路を供用開始

東北線須賀川駅では、2022年7月から橋上駅舎化ならびに東西自由通路の新設工事を行っており、2025年1月25日に東西自由通路、翌26日に新駅舎の供用を開始しました。25日の記念式典・開通式には多くの来賓・市民・関係者の皆さまが出席し、須賀川市内の児童の皆さまのテープカットの様子を見守りました。地域に根ざし、親しまれる駅としてリニューアルした須賀川駅をぜひご覧ください。



「東海道新幹線再生アルミ」 アイスクリームスプーンを販売

東海道新幹線の車両で実際に使用されていたアルミをリサイクルしたアイスクリームスプーンを製作し、11月29日より販売しています。3本セットで、JR東日本のE5系「はやぶさ」、JR東海の923形 ドクターイエロー、JR西日本の500系新幹線をデザインしています。アルミは熱伝導率が高いため、手の温もりがスプーンを通してアイスクリームに伝わり、硬いアイスクリームも食べやすい仕様となっています。



JR東日本商品化許諾済
JR東海承認済 JR西日本商品化許諾済

ホテルシェフが伝える食の楽しさ、調理の楽しさ

12月14日、JAいわて中央主催の「イケパパセミナー」が岩手県紫波町で開催されました。地元食材や食の大切さを学ぶことを目的としたもので、子育て世代のパパを対象とした料理教室の講師として、当社からホテルメトロポリタン 盛岡のシェフが参加。地元食材を使った3品を調理し、食の楽しさと大切さを伝えました。今後も料理を通じて地域とつながる交流活動を積極的に展開します。



地域の方々とともに国立駅前で チューリップ植えに参加

1月10日、国立市の桜並木や植物の自然保護活動を行うボランティア「くにたち桜守」の大谷代表と国立駅前広場にチューリップの球根を植えました。「国立市がすてきな街だと思ってもらえるように」と活動に取り組む地域の方々とともに、当社も「地域の自然保護活動」の一環として参加しました。春には色鮮やかなチューリップが国立駅を訪れる皆さまをお出迎えします。



設計・監理に携わった「Komatsu 九」が 2024年度グッドデザイン賞を受賞

当社が設計・監理に携わった小松市観光交流センター「Komatsu 九（コマツナイン）」（石川県 小松駅構内高架下）が、2024年度グッドデザイン賞を受賞。11月5日に受賞祝賀会が開催されました。「ひと・もの・情報」がつながり、多くの「きっかけ」が生まれる空間の提案から、設計・監理までを当社が担当した同センターの施設は、地方都市における駅の新たな価値創出の試みとして高い評価をいただいています。

